

2020年5月19日
日揮ホールディングス株式会社

2019年度通期決算発表
オンライン説明会における主要質疑応答（2020年5月19日開催）

※オンライン説明会開催日（2020年5月19日）時点の情報に基づく内容です。

<2020年度の受注期待案件>

質問	回答
2020年度の海外受注期待案件の中で、イラク製油所近代化案件やインドネシア非鉄製錬案件の期待度が高いという理解で良いか。	ご理解の通りだ。2020年度の案件のなかでも、計画の実現が期待される案件である。
モザンビーク LNG 案件の受注計上は、2021年度以降に延期される見込みか。計画自体が無くなる可能性があるのか。	顧客の方針次第だが、FID（最終投資決定）が2021年度以降となる可能性が出てきた。ただ、モザンビーク沖大型ガス田の開発中止は考え難く、多少遅れはしても、必ず実行される計画と認識している。
カタール LNG 案件の状況と、当社のスタンスを教えてください。	現状、2020年第3四半期の価格入札が予定されている。顧客が LNG 輸送船を既に発注済みであることなどから、着実に進捗していく案件と捉えており、鋭意見積りに取り組んでいる。ただし、メガプロジェクトであり、本案件の受注如何で受注額の振れ幅が大きくなることから、敢えて2020年度受注目標には含めていない。
オマーン LNG バンカリング案件の状況を教えてください。	着実に進展していく案件と捉えており、2020年内に入札が実施されるものと考えている。受注に向け、鋭意取り組んでいる。

<2020 年度業績予測>

質問	回答
2020 年度通期業績予想における売上の水準が低い印象だ。2020 年度の新規期待案件を売上予想に織り込んでいるか等、算定の前提を教えてください。	2020 年度の売上高見通しは、2019 年度末までの受注案件（受注残高）を中心に算定している。2020 年度の受注期待案件に関しては、工事進捗の早い一部国内案件を除き、2020 年度の売上高見通しには織り込んでいない。

<新型コロナウイルスの影響>

質問	回答
LNG カナダプロジェクトに関し、新型コロナウイルスの影響により進捗が低下しているのか。	2020 年度の業績予想における LNG カナダの業績は、進捗率の伸びを抑えて売上・利益計上を予想している。
新型コロナウイルスによる影響を、2019 年度業績実績と 2020 年度業績予想にどの程度織り込んだのか教えてください。	現時点で想定している、工期延長、在宅勤務等による生産性低下等による追加コストを洗い出した。影響については、案件によって状況は異なるが Force Majeure や Change in Law 条項に該当し、全額が当社の負担になる訳ではないものの、追加コストの一部を保守的にリスクとして見込み、2019 年度実績に 80 億円程度計上している。2020 年度に反映される部分は、業績予想に織り込んでいる。
新型コロナウイルスによる影響として、約 80 億円を追加コストとして見込んだとのことだが、その内訳を教えてください。	各案件において顧客と協議中であり、内訳については開示を差し控えさせて頂く。
Force Majeure や Change in Law 条項の適用条件は、案件毎に異なるのか。	ご理解の通りである。

< 自社株買いに関して >

質問	回答
自社株買いに関する、現状のスタンスについて教えて欲しい。	第3四半期決算発表時に、自社株買いの検討を開始したとお伝えしたが、その後、外部環境が大きく変化しており、現段階では検討を一旦保留している。

以上